



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 オプテックス株式会社

コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼代表取締役社長 (氏名) 小林 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	17,226	12.6	1,715	87.9	2,035	95.2	1,253	169.0
24年12月期第3四半期	15,302	9.4	913	△36.5	1,042	△32.3	466	△47.8

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 2,275百万円 (231.0%) 24年12月期第3四半期 687百万円 (△10.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	75.76	—
24年12月期第3四半期	28.17	28.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	26,250	21,252	76.2
24年12月期	23,664	19,532	77.5

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 19,992百万円 24年12月期 18,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年12月期	—	15.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	15.9	2,300	64.5	2,600	54.7	1,600	93.8	96.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	16,984,596 株	24年12月期	16,984,596 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年12月期3Q	434,202 株	24年12月期	433,232 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	16,550,857 株	24年12月期3Q	16,551,451 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、国内においては日銀による異次元の金融緩和の実施や政府が機動的な財政出動を決定したことを受け、円安や株高に象徴されますように景気は回復傾向となりました。

一方、海外におきましては米国において緩やかに景気の回復が見られたものの、欧州における財政不安の長期化に加え、中国などの新興国での成長鈍化など、依然景況見通しは先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、欧州景気の低迷、中国の景気減速懸念などから輸出は全体として厳しい状況にある中、為替については円高が是正され米ドルや欧州通貨に対して円安水準となりました。当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルで前年同期の79.4円に比べ17.3円(21.8%)円安の96.7円、対ポンドでは同125.2円に比べ24.2円(19.3%)円安の149.4円、対ユーロでは同101.8円に比べ25.6円(25.2%)円安の127.4円となりました。

このような状況の下、当社グループは新製品の開発と投入、大型重要施設への展開及び大手顧客シェア拡大による既存事業の強化を図ってまいりました。加えて、LED照明を活用した新たなアプリケーションの開拓や相対的に高い成長が見込まれる新興国市場開拓への布石など、新たな事業分野への活動を推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、172億26百万円と前年同期に比べ12.6%の増収となりました。また、利益面につきましては、相対的に収益性の高い防犯用屋外センサの売上比率の増加により原価率が低下し、営業利益は17億15百万円(前年同期比87.9%増)、経常利益は20億35百万円(前年同期比95.2%増)、四半期純利益は12億53百万円(前年同期比169.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高119億87百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益11億40百万円(前年同期比95.9%増)となりました。

防犯関連につきましては、売上高87億68百万円(前年同期比20.5%増)となりました。海外では、南欧向け輸出の回復などにより、屋外警戒用センサの販売が堅調に推移いたしました。国内では、大型重要施設向け屋外警戒用センサの販売が順調に推移し前年実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、国内の売上は伸び悩んだものの、北米及び欧州向けの売上が順調に推移した結果、売上高28億31百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

② F A事業

F A事業は、海外におきましては、欧州での金融不安の影響や中国における景気減速による設備投資抑制の影響を受け、需要は伸び悩みました。一方、国内におきましては、物流、工作機械、自動車関連業界で設備投資需要の持ち直しが見られました。その結果、売上高33億72百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益2億21百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

③ 生産受託事業

生産受託事業は、受託製品数量が減少したことにより減収となり、売上高7億22百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益1億34百万円(前年同期比44.8%増)となりました。

なお、生産受託事業の営業利益については、セグメント間の内部売上の影響を多分に受けるため、当該内部売上が増加したことにより、営業利益は前年同期に比べ増加幅が大きくなっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は262億50百万円となり、前連結会計年度末と比べ25億86百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が20億13百万円、投資有価証券の増加等により固定資産が5億73百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は49億98百万円となり、前連結会計年度末と比べ8億66百万円増加しました。これは主に未払法人税の増加等により流動負債が7億92百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は212億52百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億19百万円増加しました。これは配当金の支払があったものの、当期純利益の増加により利益剰余金が7億57百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が9億5百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成25年7月25日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるオプテックス・エフエー株式会社は、平成25年7月1日を合併期日として、同じく連結子会社であった日本エフ・エーシステム株式会社を合併いたしました。また、オプテックス・エフエー株式会社が、平成25年9月18日付でセンサビジョン株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,912	7,304
受取手形及び売掛金	4,389	4,949
有価証券	851	1,298
商品及び製品	1,818	2,053
仕掛品	60	101
原材料及び貯蔵品	1,077	1,215
繰延税金資産	381	515
その他	460	537
貸倒引当金	△19	△27
流動資産合計	15,933	17,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,137	1,098
機械装置及び運搬具（純額）	324	351
工具、器具及び備品（純額）	277	263
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	21	44
有形固定資産合計	2,963	2,961
無形固定資産		
のれん	828	802
その他	504	512
無形固定資産合計	1,332	1,314
投資その他の資産		
投資有価証券	2,518	3,134
繰延税金資産	574	539
その他	387	393
貸倒引当金	△46	△39
投資その他の資産合計	3,434	4,027
固定資産合計	7,730	8,303
資産合計	23,664	26,250

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,031	1,234
短期借入金	483	554
未払法人税等	265	575
繰延税金負債	11	9
賞与引当金	82	239
役員賞与引当金	—	41
その他	839	853
流動負債合計	2,714	3,507
固定負債		
繰延税金負債	94	109
再評価に係る繰延税金負債	6	6
退職給付引当金	835	871
役員退職慰労引当金	465	489
その他	15	14
固定負債合計	1,416	1,490
負債合計	4,131	4,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	13,184	13,941
自己株式	△538	△539
株主資本合計	19,097	19,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	126
土地再評価差額金	11	11
為替換算調整勘定	△803	1
その他の包括利益累計額合計	△766	139
新株予約権	9	16
少数株主持分	1,191	1,243
純資産合計	19,532	21,252
負債純資産合計	23,664	26,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	15,302	17,226
売上原価	7,858	8,228
売上総利益	7,443	8,998
販売費及び一般管理費	6,530	7,282
営業利益	913	1,715
営業外収益		
受取利息	44	58
持分法による投資利益	7	6
為替差益	27	186
受取賃貸料	14	15
保険返戻金	29	2
投資事業組合運用益	—	12
その他	29	58
営業外収益合計	153	339
営業外費用		
支払利息	2	2
投資事業組合運用損	3	—
賃貸費用	13	15
その他	3	2
営業外費用合計	23	20
経常利益	1,042	2,035
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	5	13
特別利益合計	6	15
特別損失		
固定資産除却損	6	1
持分変動損失	0	—
減損損失	—	1
のれん減損損失	41	—
特別損失合計	47	3
税金等調整前四半期純利益	1,001	2,047
法人税、住民税及び事業税	473	831
法人税等調整額	5	△134
法人税等合計	478	697
少数株主損益調整前四半期純利益	522	1,350
少数株主利益	56	96
四半期純利益	466	1,253

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	522	1,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	119
為替換算調整勘定	131	805
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	164	924
四半期包括利益	687	2,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622	2,159
少数株主に係る四半期包括利益	65	115

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,244	3,295	771	14,311	990	15,302	—	15,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	1	2,152	2,170	69	2,239	△2,239	—
計	10,261	3,296	2,923	16,481	1,060	17,542	△2,239	15,302
セグメント利益	581	231	92	905	19	925	△12	913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,987	3,372	722	16,082	1,144	17,226	—	17,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	1	2,693	2,721	45	2,767	△2,767	—
計	12,014	3,373	3,416	18,803	1,190	19,993	△2,767	17,226
セグメント利益	1,140	221	134	1,495	233	1,729	△13	1,715

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。